

旬じょうはん

情勢判断学会 東京本部
会員向けニューズレター
発行人 古川 彰久
事務局 〒252-0321 神奈川県
相模原市南区相模台 1-23-9
Tel.&Fax.
042-748-8240
<http://www.jouhan.com>
E-mail: info@iki2life.com

1 月例会ご案内

日時 : 1月14日 水曜日
18:30 ~ 20:30
テーマ : ついに開発された、心に関する効果のある技術。世界で65言語に翻訳され、2千万部出版されている心の健康のための現代科学「ダイアネティックス」について御紹介します
場所 : 港区立商工会館
参加費 : 1000 円
担当 : 田口 達也

<講師のプロフィール>

サイエントロジ-東京
フィールドスタッフメンバー
心の問題に興味を持ち、効果のある解決策を探していたところ、2000年にダイアネティックスの存在と、その効果を知る。以来、フィールドスタッフメンバー(普及を担当するボランティアスタッフ)として、これを適用するための技術を向上させるべく海外でトレーニングを積むとともに、その効果を他の人にも伝えるべく、国内での普及に努めている。

人はなぜ自分の能力の20%しか使えないのでしょうか?なぜ自分のことなのによく分からなくなることがあるのでしょうか?明確な思考を妨げるものは何でしょうか?自分の中の何かが自分を止めていると感じたことがありますか?なぜ幼いころは毎日が楽しかったのに、年をとるにつれて、日常から輝きが失われていったのでしょうか?

これらには具体的な理由があるのでしょうか?それとも、ただの「自然なこと」なのでしょう?幼い頃のエネルギーは、失われたのでしょうか?それとも使われないままどこかに貯蔵されていて、また取り戻せるのでしょうか?こうしたことが起こる仕組みを完全に解明し、その原因を取り除くための技術は存在するのでしょうか?

そうした技術は存在します。L. ロン・ハーバード氏は1950年に心の仕組みを解明し、ダイアネティックスを開発しました。ハーバード氏は、その技術を誰でも勉強し、使えるように詳しく本にまとめました。それはシンプルな技術であり、誰でも使ってみて、効果があるかどうか確かめることができます。今回の情判会例会では、ストレス社会に生きる皆様に、効果のある解決策を提案します。

11月例会報告

日時 : 11月12日 水曜日
18:30 ~ 20:30
テーマ : 脳力開発の原点に戻ろう
「真のリーダーの心得」について
場所 : 港区立商工会館
担当 : 古川 彰久

定例会では、講師のお話を通して、実際の活動においてどのように脳力開発が活用されているか、論議をしてきましたが、今回は脳力開発の原点に立ち戻り、どのように脳力開発を活用していくのか、「真のリーダーの心得」をもとにお互いに理解を深めたいと考えます。

変革のための指針

【真のリーダーの心得】

(1) 悪条件の中で建設を推進できるものが真のリーダーである。

——不足の条件を整備していく“もと”を作ることこそ変革の中心——

(2) 変革とは、それを具体的に不動の決心・覚悟として確立しないと始まらない。

——変革はまず一人から始まる——

(3) 同志と協力者を一人ずつ増やしていくことが変革の過程である。

——点から面へ、そして主流に——

(4) 変革という本質的変化には時間がかかるのである。

——自滅するな、そしてやめるな——

(5) 着実にたんねんに、一歩ずつ歩め、一口ずつ食べよ。

——すぐできるところから、すぐにやるべし——

(6) 他人や周囲は、言うことを聞いてくれないものである。

——物事は思い通りにならない方が通常——

(7) 与えてもらうのを待っているばかりでは流されるだけである。

——だれがやるのか？ 自分は何をするのか？——

(8) まず自分が変われ、更に一步変われ。

——それが変革の原動力——

(9) レベルの高い方が苦勞するのは宿命である。

——真のリーダーにとって、困難と苦勞が生じなければそれは異常——

(10) 嘆きの人生か、楽しみの人生か、自分の意志でどちらにもできる。

——何が真の損得なのか？ かけがえのない人生にとって——

<討議内容及び意見>

参加者が新しい仕事等にチャレンジしていく過程で、この考え方が非常に役立った。特に厳しい難関を乗り越えていくうえで、自らの決心覚悟を持つことが重要といえる。

ただ、我が国の現状では、特に若い人はチャレンジすることを避けて安易に流されているように見える。特に教育の中に読み書きそろばんのように技能的なことが重要視され、残念ながらどのように自分の人生を生きるかという生き様のようなことは取り上げていないことも問題といえる。

いのちの本質の中には、環境の変化に合わせ、いのちの内容を常に変化させていく機能が備わっているように思う。脳力開発はそのチャレンジする力を高める方法でもある。

